

命のしるし(第二回)

小俣麦穂

《前号のあらすじ》

流れ者の傭兵の二人。一人はシェルト。本当の名前はアリアという。もう一人の大柄な青年はザック。嵐の前に、宿を求めて商家を探していたとき、二人は店で生活に困っている農夫を見た。ツケで小麦を買わせてくれと店主に懇願している。それを見逃さず、礼金で釣って納屋を借りた。そこでもう一つの出会いがあった。



絵 長浜めぐみ

2. エメレット

嵐が過ぎ去り、抜けるように青い空の朝だった。

父親にせきたてられ、納屋へ来た少女の姿は、旅支度とはほど遠かった。

与えられていたのは、傷んだ穀物袋でつくったポンチヨ